

東京聖栄大学 後援会会報

編集発行
東京聖栄大学
後援会

会長挨拶

後援会会長 齋田浩三



秋とは云えまだまだ日差しは
厳しい今日この頃ですが、後援
会の皆様におかれましては益々
ご健勝のこととお慶び申し上げ
ます。

去る四月四日の東京聖栄大学
入学式終了後に開催されました
平成十九年度東京聖栄大学後援
会設立総会におきまして、会長
を仰せつかった齋田浩三です。
これから一年間後援会会員の皆
様にご指導ご鞭撻を賜りながら
大任を全うしていく所存であり
ますので、宜しくお願ひします。
さて、東京聖栄大学後援会とし
て三年目となりました。後援会
の皆様のご援助により、大学と
共催の保護者会、会報の発行、

多くの学生が学業に専念できる
教育環境と教職員の研究助成を
図るべく支援活動を行っており
ます。

尚四月四日の後援会総会にお
きまして、会則変更により来年
度から全学生の父母（保護者）
様全員に後援会に加入してい
ただく事になりましたので、今後
とも後援会の活動・支援を宜し
くお願い致します。

最後にありますが、東京聖栄
大学の益々の発展と後援会の皆
様のご活躍を祈念しご挨拶とさ
せていただきます。

◆保護者会

後援会・大学共催による保護
者会が、去る九月十五日（土）、
四十七名の保護者の方の参加を
得て、学内で行われた。
当日は、二部に分けて実施さ
れた。



第一部で
は、全体会
として多目
的ホールを
会場とし、
齋田後援会
会長の挨拶、
康栄養学部
学部長の挨拶
があり、引き続き、「学生の現
状と課題」について学務課なら
びに学生支援センターから報告
が行われた。第二部では、会場
を教室に移し、学科別全体・学
科別懇談会が行われた。学科別
全体会では、学部長挨拶ならび
に、現状と課題や学科行事など
について報告がなされた。

その後は各学年ごとに別れ
て、学年担任を中心に出席者全
員参加による懇談形式と、個別
懇談形式を併用して実施され、
有意義な時間が持てた保護者会
であった。

◆総会・役員会報告

三月末役員会報告
二月二十四日四役会、三月二
十四日に役員全体会が開催さ
れ、平成十八年度事業報告、同
決算報告、会計監査報告があり、

慎重審議の後承認、平成十九年
度事業計画案、同予算案を審議
夫々承認がなされた。

さらに進級する一部の二年役
員の方の十九年度留任が決定。

総会

大学入学式当日の四月四日わ
たなべ記念館に於いて、ご父母
（保護者）多数の出席を得て総
会が開催された。

昨年度の事業報告・決算書、
本年度事業計画案・予算書案が
承認され、更に会則の一部変更
について慎重審議がなされた。

本案については、後援会費の
ご負担を軽減するため減額し、
平成二十年度から月額二千円を
年額一万二千円とし年度初めに
全在生ご父母（保護者）に年
会費としてご納入戴くことが承
認された。

続いて、新役員の選出・委嘱

の後、新会長には齋田浩三氏が
再選された。

◆備品等寄贈について

学生の課外活動として、学
友会主催の体育祭が毎年五月
中旬船橋市内にある大学グラ
ンドにて行われる。このため「綱
引きロープ巻き取り器」紅白玉
入れの「玉入れ台」「カラー球」
を新規購入し大学に寄贈した。

また、屋型テントも旧短期大
学名のままであったので、屋根
部分の生地9張りを新大学名
の名入れをして寄贈し、体育祭
の使用に供した。これは秋に開
される大学祭にも利用される。
なお、教育設備の一層の充実
を図るために本年度も図書寄
贈などを予定している。

平成19年度後援会役員紹介

三昌博	一隆	一利	夫敏代	勇三	志弘	洋子	視夫	明美	則
浩靖	晃実	和弘	敦隆	正充	義	（千政）	松正	重好	（敬称略）
田口	嶋村	藤田	藤永	崎	口井	野田	部木	井藤	村
齋田	大川	斉橋	安松	山	江金	吉青	福	谷高	糸加
3NB	3NA	2FA	3NA	3FA	1NA	3NB	3FA	3NA	3NA
3NA	3FA	1NA	3NB	1FB	3FA	3NA	3NA	3NB	2NA
3NA	3NA	3NA	3NB	2NA	2NB	1NA	1NA	1NA	1NB
3NA	3NA	3NB	2NA	2NB	1NA	1NA	1NA	1NB	1NB

管理栄養学科

管理栄養士国家試験対策 (全学年)

本学管理栄養学科カリキュラムは管理栄養士の国家試験受験資格をみたくように編成されている。それに加えて本学では国家試験受験準備のための時間を設けて、全員合格をめざしての取り組みが行われている。その内容は以下の通りである。

- 一年次：研修会開催：管理栄養士の活動分野の紹介と管理栄養士国家試験ガイダンス
- 講座開催：既習国家試験関連科目のまとめと小試験（各学期終了時）
- 二年次：講座開催：八教科学内模範試験と解説講義（各学期終了時）
- 三年次：講座開催：学内模範試験と解説講義（四、五、八、十月）
- 特別講座開催：関連教科の復習（後期週二講時）
- 四年次：学内模範試験四回、学外模範試験参加

特別講座開催：全関連教科の復習と問題演習（週四回程度の連続講義）

その他、国家試験情報ガイダンスは適宜開催する。

夏期宿泊研修（一年次生）



平成十九年度管理栄養科一年次生に対する夏期宿泊研修

は、八月六日（月）、七日（火）山梨県富士河口湖町にて行われた。研修では、教職員・学生間の懇親、大学における教学・学生生活両面の内容理解の把握向上に寄与した。また、学生からも教学・学生生活両面に関する多数の要望事項等も出され、今後の学生指導に関する貴重な参考意見ともなった。

国試対策特別補習（二年次生）

昨年は二年次生に対しては、一年次の総括ということで特別補習を五日間にわたり実施した

が、今年是国家試験対策の一環と明確に位置付けて特別補習を実施することとなった。九月六・八・十日の三日間基礎的な五教科を二コマずつ補習し、最終日には五教科総合テストを行い、各学生の実力および理解度を把握した。基礎教科の実力向上が対策で重要となっている。

臨地実習（三年次生）



平成十九年七月より、臨地実習（臨床栄養学、公衆栄養学、給食経営管理論、給食

の運営の四単位）のうち「給食の運営」が始まった。特定給食施設（病院、保健所、学校、事業所等）において、それぞれ一週間ずつ、大学内で学んだ「専門的知識と技術の統合」のための第一歩を踏み出した。今後、他の三分野の実習が逐次始まる予定である。臨地実習センターを中心に学生支援を継続的にを行っている。

学生支援センター

マナー向上運動・ECO推進運動

昨年度から全学的に「マナー向上運動」を実施している。本年度も六月二十五日に財団法人実務技能検定協会面接官の前田小百合氏を講師にお迎えし、新入学生を対象にマナー講座を実施した。

本年度からは、さらに世界的な問題となっている地球温暖化問題への対応として本学も『ECO推進運動』を実施することが決定した。最初の企画として、七月二日に地元葛飾区役所環境部リサイクル清掃課による「ごみの減量の必要性について」と題する講座を実施し、三つのRの説明などが行われた。



特別就職講演会



学生の就職活動の基礎力向上を目的に実施している特別講演会が今年六月十八日に実施された。元雪印乳業株式会社専務取締役の十河幸夫氏による「採用（就職）試験における選り抜かれた側面からのポイント」と題する講演では「英語」と「漢字能力」の重要性が指摘された。

就職サポート

三年次生は、秋から就職活動が本格化する。学生支援センターでは、今までのキャリア・就職サポートを発展充実させ「SPI」対策講座・面接対策講座などを新しく実施する。一年次・二年次生も将来の就職活動に備え、上級生を対象に実施される行事に関心を持ち行動してください。

食品学科

フィールド研修 (一年次生)

食品学科一年次生対象のフィールド研修は、八月六・七・八の三日間、長野県伊那地方にて行われた。一日目、伊那食品工業(株)の見学・講演会は大変役立った。二日目、三和農園での五平餅作り、午後は味噌・漬物蔵元の工場見学と野菜の収穫体験、たくさんのがやがやも収穫することができた。三日目、農業公園チロルの森でアイスクリーム作り、そば打ち、そばアレルギーがある学生はピザ作りと楽しく作り、おいしく食べて来た。松本、橋場直彦、植芝先生のご協力のもと、1FA二十五名と1FB二十四名楽しく有意義な三日間を過ごして来ることができた。



五平餅作り

タイ研修旅行 (二年次生)



タイ料理の実習

二年次生の海外研修は、今年も世界でも有数の農業生産国であり、食品加工も盛んなタイ国にて、八月三十一日から九月七日までの八日間にわたって行われた。

見学はチェンマイ近郊で冷凍野菜・果実工場と果実等の缶詰工場。バンコク近郊では飲料工場と漬物・コンニャク工場と計四社工場。さらに国立稲作研究所のほか数ヶ所の食品市場を見学し、タイ料理の調理実習も行った。

研修の傍ら、種類の豊富な果物や美味しいタイ料理を堪能。ゾウに乗ったり寺院・遺跡を巡ったり、ナイトバザールでの買い物を楽しむなど、内容の充実した八日間であった。

インターンシップ (三年次生)

食品学科では、平成十九年度に三年次生が誕生したのに伴い、インターンシップ制を導入・実施した。

インターンシップとは『学生に就業体験の機会を与えてビジネスの現場や働くことの意義を理解し、自分自身の学業生活の充実や将来のキャリアプラン作りとその実践に役立てる』というものである。

今年度は二十七名の学生が選択し、主に夏休みの期間中に一週間から二週間の実習に赴いた。既に実習を終了し受入先様から高く評価された学生も多し。これは、第一期生としての自覚を持ち、積極的に取組んだ賜物であり、次年度以降のインターンシップの一層の充実が期待出来る。

平成19年度 インターンシップ研修先

- 第一屋製パン
- 共立フーズサービス
- 日本マクドナルド
- ヤマザキナビスコ
- 中村屋
- 山崎製パン
- ラフォーレ倶楽部 (他)

学友会活動報告

●学友会総会・新入生 歓迎会

四月十八日、「学友会総会」が開催され、新役員の選出や新年度予算案等が承認された。「新入生歓迎会」では、松本信二本学教授による『グローバルな食について』と題する特別講演が行われた。

●体育祭



五月十六日、本学第一グラウンド(船橋市)において体育祭が開催された。今年、紅白玉入れ用の「玉入れ台」や「テント」が後援会より寄贈され学友会から後援会に感謝の挨拶があった。クラス対抗戦で優勝した2FBクラスには福澤学長より「学長杯トロフィー」が授与された。

●聖栄葛飾祭(大学祭)

昨年「聖栄葛飾祭」と正式名称が決定した大学祭は、今年も学園創立六十周年記念大学祭として十一月十日(土)十一日(日)に開催される。

六十周年事業行事としては、『出沒!アド街ツク天国』などにテレビ出演されている編集者の山田五郎氏による特別記念講演会を予定している。また、食育イベント「サンデークッキング」を日本フードスペシャリスト協会と共催で実施するなど例年以上の企画を準備している。後援会では多くの方々のご来校をお待ちしております。

●地域活動



七月二十八日に行われた新小岩南地域まちづくり協議会主催による「新小岩えきひろフェスティバル」に軽音楽同好会が初参加し、地元の方々から大きな歓声を得た。今後も地域と一体となった活動が望まれる。

大学トピックス

学園創立六十周年 記念式典挙行

学校法人オリズムピア学園は、本年をもって創立六十周年を迎えるに当り、去る五月三十一日、本学一号館講堂において本学園関係者約百五十人出席のもとに記念式典が厳かに挙行された。

式は先ず教職員物故者御霊に黙祷を捧げた後、福澤理事長の式辞があり、続いて来賓代表として本学園顧問である平沢勝栄衆議院議員より祝辞が述べられた。ついで学園功労者に感謝状、

永年勤続教職員二十五名に対して表彰状及び記念品が理事長から授与された。最後に校歌を斉唱して記念式典を終了した。

記念祝賀会は、場所を移して錦糸町にある東武ホテル・レバント東京の「錦の間」において学園関係者、同窓会、後援会等の役員、関係企業、地元町内会



等、関係企業、地元町内会

自治会、商店会の役員の方々など約二百人が出席して執り行われた。まず記念事業の一環として製作された創立者渡邊正助・富久子両先生のレリーフ像が両先生と所縁の深い方々の手によつて除幕され出席者に披露された。続いて福澤理事長の開会の挨拶、本学園顧問の林淳三先生及びこの祝賀会に出席された平沢勝栄氏夫人あや子様よりご祝辞があり、巻田学園理事の発声によつて乾杯が行われ祝宴に入った。宴は終始和やかな雰囲気にも包まれて時の経つのも忘れるほどの盛会であった。

法人名の変更

本学園は「オリズムピア学園」の法人名で長年親しまれ、社会に貢献してきたが、平成十七年四月、四年制大学の「東京聖栄大学」を開設し、さらに本年創立六十周年を迎えたことを機に、学園の更なる発展を期して、平成十九年六月一日より法人名を大学名と同じ「学校法人 東京聖栄大学」に変更した。

大学の、地域共創活動

平成十八年度の学生支援センター発足を契機に新しい本学の



地域共創について」と題する報告がされた。

その後、①地元新小岩北口商店会との協力関係強化②『大学通り』の命名③地域密着型『聖栄葛飾祭』の開催④大学通りプリートの設置など次々と地域貢献活動を実施している。

地域貢献活動が実施され始め、平成十八年十月の拡大教授会には「東京聖栄大学の、地

入試関係ニュース

受験相談会

10月13日(土) 11月10日(土) 11月11日(日)
12月1日(土) 1月13日(土)

■開催時間：各回とも13:00-16:00 要予約
■主な内容：平成20年度入試概要説明、個別受験相談、キャンパス見学、在学生と話す他

※11月10日、11日は聖栄葛飾祭(大学祭)同時開催。

〈お問い合わせ先〉

学生支援センター入試相談室

〒124-8530 東京都葛飾区西新小岩1-4-6

TEL. 03-3692-0211(代) 03-3692-0238(入試相談室直通)

管理栄養学科担任紹介

一年担任 飯桶 洋二准教授



一年副担任 長須 正明講師



二年担任 柳瀬 昌弘教授



二年副担任 伊澤 正利講師



三年担任 渡邊 悟教授



三年副担任 富吉 靖子講師



食品学科担任紹介

一年担任 牛腸ヒロミ教授



一年副担任 前田 宜昭准教授



二年担任 松本 信二教授



二年副担任 荒木 裕子講師



三年担任 品川 弘子教授



編集後記

後援会会報は、今回(第四十三号)から一・四面を二色に、二・三面をカラーにしました。